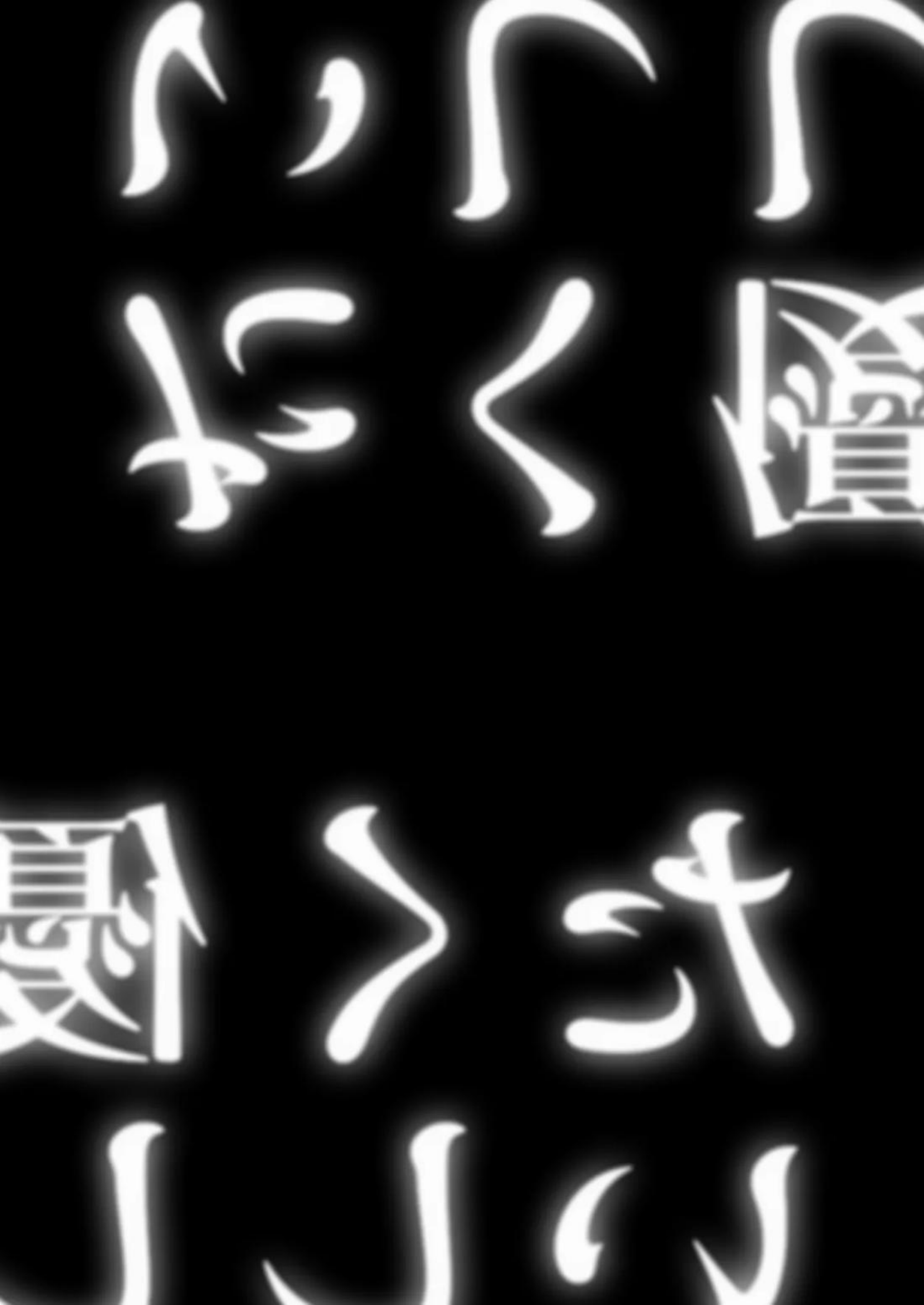
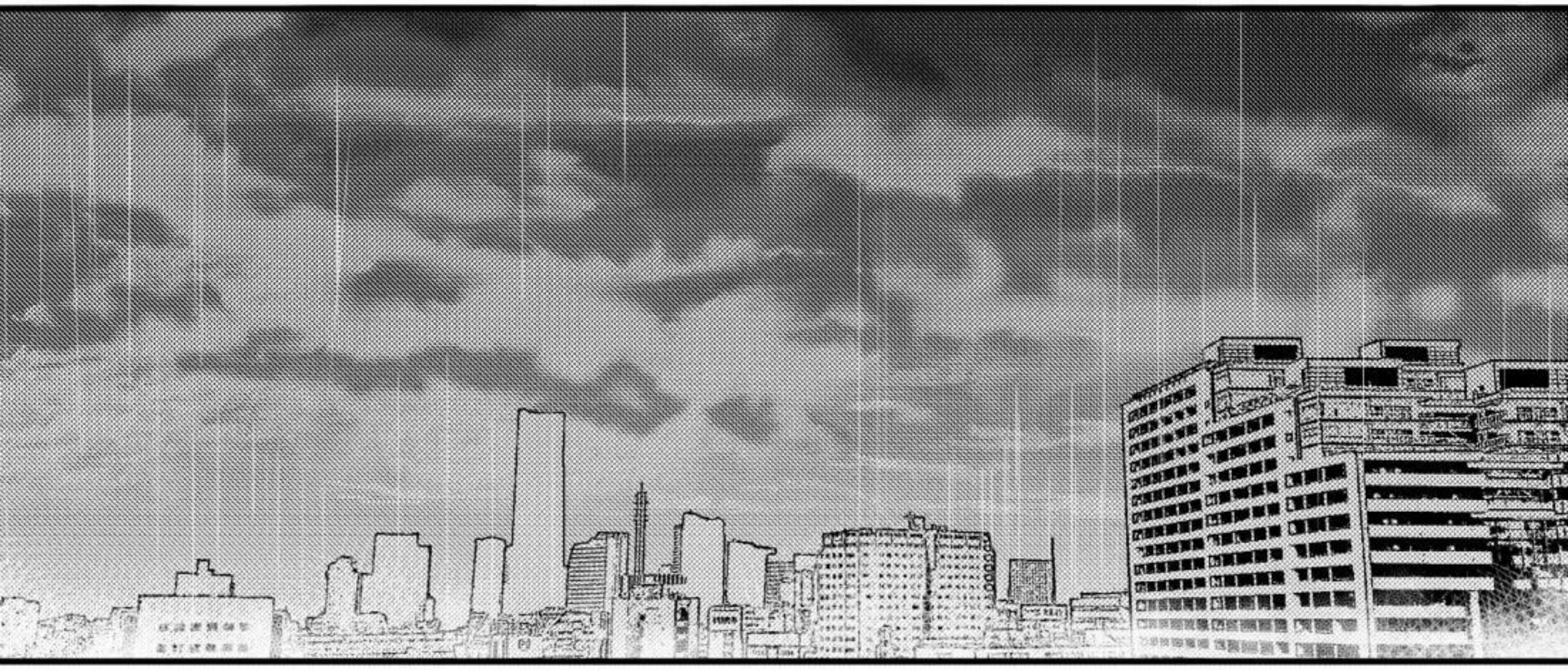
優
たくしし
いし


ぬくぬ
圖學設計

―僕達はきっと、
意識しなければ
簡単に千切れて
しまうような
脆い繋がりの中で
生きている



その日は朝から
雨が降っていた

見知らぬ他人
だったら
見向きも
しなかった

知り合いでも、
傘を押し付けて
帰したかも
知れない

でも、

何もせず千切れて
しまうなら

少し足掻いて
みたいと思った

理由は何だっていい
必然も偶然も
偽ろう

彼を見た瞬間、
ここで帰しては
後悔すると
心が警報を
鳴らした

……風邪、引きますよ

……

……っ

平気です……

ギュッ

カタ カタ

一緒に来て下さい

え…

そのままだと風邪を引く

震えている貴方をここに放置しておける程、私は薄情ではありません

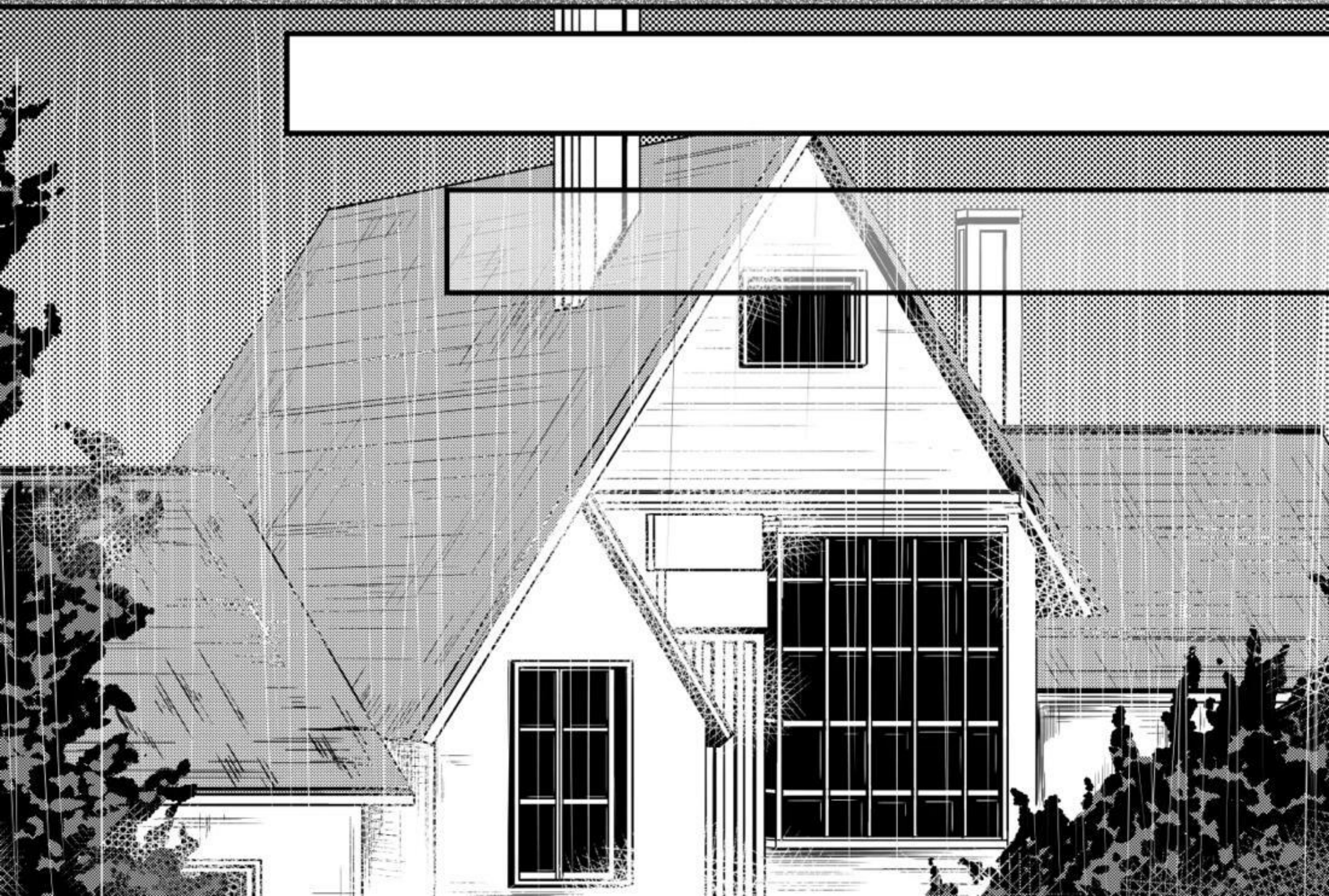
来てくれますね？

……はい

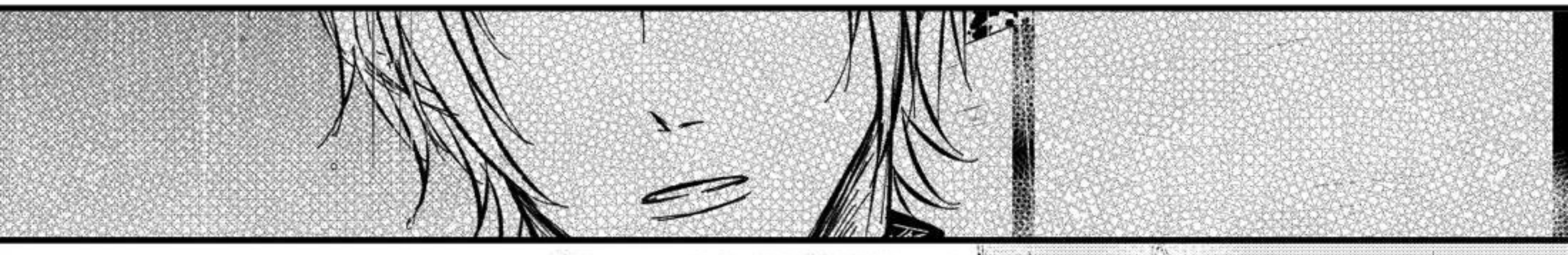
そう言えば
彼が断われないと
知っていた

狡いやり方でも

彼を帰さない為の
口実なら、
幾らでもある



……



きっと誰にでも
こうやって
優しくするんだろうな…
上も下も
ぶかぶかだ…

お風呂…
ありがとうございました

いいえ

雨は当分止まない
ようですし、
服もまだ乾いてません

休んでいって
下さい

いや、でも…
ご迷惑じゃ……

そんな事
ないですよ

……

貴方とはゆっくり
話してみたかったので

やはり
そうでしたか

もっと感情的に
なるかと
思っていた

泣いてしまう
可能性も
考えていた

大丈夫です

こんなところで立ち止まれない

感情に潰されるわけにはいかない

全てが終わるまで僕は走り続けます

まだ闘える

彼の瞳は静かな水面のように美しかった

違う

そうじゃない

——俺は
そんな言葉が
聞きたかった
わけじゃない

貴方には
申し訳ない事を……

あの時の俺は
彼に恨まれようが
憎まれようが
どうでも良かった

庇ったつもりだって
微塵もない

その時は
そうするのが
最善だと思った

それが俺の
エゴだとしても

沖矢さん…？

どうしました？
黙り込んで…

すいません…
少し考え事を

あの…
やはり僕は
帰った方が
いいんじゃ……

いいえ
貴方の事を
考えてました

えっ

あ

や

やだなぁ…

沖矢さんでも
そんな冗談言うんですね

どきっとしちゃいました…

なんて顔するんだ

冗談ではないんですがね

沖矢昴が赤井秀一だと知っていても そんな顔が出来るんだな

全てを打ち明けたあの日
彼は俺に強気な言葉を
向けたが、

重すぎる悲しみと
後悔を背負えるほど
彼の心は強くない

バーボンも、
安室透も、
降谷零も、

彼の偽りも真実も
全て見てきた

俺だけが

方には
し訳ない事を
ました……

すいません…
こんな情けない顔で
言う言葉じゃないで

何だろうな、
この気持ちは……

彼を帰したくない

一つ聞いてもいいですか？

…はい

普段無駄な事はしない貴方が

何故ここを訪ねようと思ったのか

な、に言って…

おや？そうでなければ他に何か理由が？

……

沈黙は肯定ですよ、安室さん

もう一度お聞きします
貴方は何故此処を
訪ねようと思ったんですか？

沖矢(わたし)に用が
あるとは
思えない…

それなら
貴方が用があるのは、

俺だろう

……そうです…
貴方に用があって
来たんです

でも
意地の悪い
聞き方は
やめて下さい

すまない

だが君の真意を量りかねていたのでね

それで

何があったんだ

君が俺に会いに来るなんてよっぽどの事があったんだろう

言いたくないならそれでも……

安室くん…？

赤井…
……ライ

バーボン…？

どうし…

オイ…！

何も聞かないで下さい

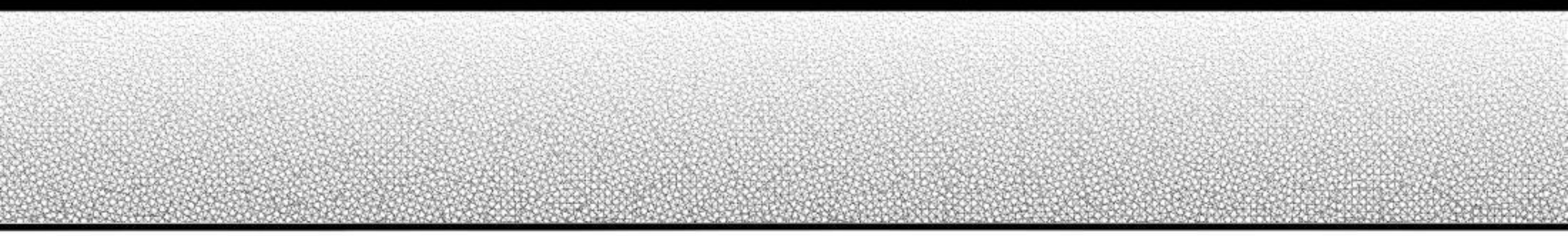
迷惑なのは分かってます…

でも今は貴方しか……

お願いします……そばにいて下さい

中に入れ

——あの時俺は彼に優しく出来ただろうか



安室くん

赤井…

え

え

かあっ

優しくしたい

誰よりも――

…慰めてほしくて

最近組織の仕事が忙しくなって体的にも限界で……

ごめんなさい…貴方にこんな事させるつもりはなかったのに…

…誰でも良かったんですよ

……

迷惑でしょうから もう……

腹立つな

は？

雨に降られてまで俺の所に来たのは君だろう

えっ

あの

今更誰でも良かったなんて言うんじゃない

……

どんなに否定しても

君が俺を選んだという事実は変わらない

あの時と同じように

えっ えっ
どうしたんですか
何で怒ってるんです？
どうしたも なにも
君が俺以外の 誰かに慰められている 姿を考えると
無性に腹が立つ
それだけだ
――嗚呼 この気持ちは…
……
……本当に どうしたんです…？
……さあな
言ったところでどうなる 君を困らせるだけだ

本当に誰でも良かったのか？
……
……貴方ねぇ
どうしてそんなに気にするんですか？
……
答えたくないなら答えなくていい

——いつの日か
全てが終わって

お互いに
本当の姿に戻れたら

その時には
あの頃よりも今よりも、
今後…
君に優しくしてい
いって事か？
は
どうなんだ
ぽかんっ
誰よりも
君に優しくしたい
…はい

fin.